

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
15時17分48秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002040100	青少年室少年自然の家
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01105	少年自然の家施設管理事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり							
細節	40	青少年の居場所づくり							
予算事業	10980	01	10	05	06	02	01	01	施設管理事業（少年自然の家費）
所属長	藤本 一久			担当者（内線）	足立 均（850）				
根拠法令等	吹田市立少年自然の家条例・吹田市立少年自然の家条例施行規則の一部改正								
事業開始年度	昭和55年度	直近の改正	平成27年度						
改正内容	平成27年度において、吹田市立少年自然の家条例施行規則第3条及び第4条の改正（使用者別使用申込期間の拡充）を行う。								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	小学校及び中学校の児童及び生徒、青少年団体の構成員、青少年教育の指導者等、研修プログラムに沿って自主的な活動を行う1家族以上或いは2人以上の団体		
目標	野外活動や自然体験学習などの体験の場を提供し、集団生活活動を通じて青少年の健全育成を図る。		
結果	青少年の社会性や協調性を養い、自然に関する意識の向上を図る。		
事業概要	学校、青少年団体、少人数グループ、家族、環境サークル等の少年自然の家利用者に対して、野外活動の場や生涯学習の場を提供するためにハード及びソフト面の条件整備を行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	総合建物管理（株）
		委託先②	ネボン（株）大阪営業所
		委託先③	ヒラカワ（株）
	主な委託内容		警備業務・清掃業務他
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	59,792	56,483	68,479	64,102	56,465
人件費職員数(人)	2.85	2.85	2.85	2.85	2.85
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	23,285	22,515	22,949	22,949	22,644
総事業費(A+B)	83,077	78,998	91,428	87,051	79,109
特定財源(C)	2,535	2,663	2,816	2,625	2,638
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	2,535	2,663	2,816	2,625	2,638
市負担(D)	80,542	76,335	88,612	84,426	76,471
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	80,542	76,335	88,612	84,426	76,471
財源計(C+D)	83,077	78,998	91,428	87,051	79,109

所属	青少年室少年自然の家
事務事業番号	01105

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	利用人数	人	目標値	23,000.00	23,000.00	23,000.00
			実績値	20,944.00	20,113.00	
			達成度(%)	91.10	87.40	
目標値の積算方法	利用人数×利用日数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	3.77	4.33	
			一般財源(千円)	3.64	4.20	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	利用率	%	目標値	79.00	79.00	80.00
			実績値	78.50	73.50	
			達成度(%)	99.40	93.00	
目標値の積算方法	開所日に対する利用日数の割合	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,006.34	1,184.37	
			一般財源(千円)	972.42	1,148.65	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 従前からの改修項目であった非常用発電機改修及び屋外西便所屋根改修に伴い、事業費が前年度より増大したが、利用者に安心・安全に施設を利用して頂くことができ、事業費の支出は適切と考える。</p> <p>【指数数値の評価】 使用申込み期間の拡充、利用人数等利用要件の緩和、休所日の臨時開所等柔軟な施設運営、施設の特徴を活用した自然観察会の開催、吹田市内の小・中学校へのアンケートの実施などを行った。平成28年度と比較し、延利用者数、利用率とも減少し、今後において平日利用の促進を図ることが重要である。</p> <p>【今後の方向性】 環境学習、食育、宿直対応、緊急時の病院搬送及び安全な給食提供等の取り組みは今後も継続し、利用者の方から「また利用したい。」、「一度利用してみたい。」と感じていただける施設を目指す。</p>

事務事業分析シート

所属名	少年自然の家	事業名	少年自然の家施設管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	1105				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	14	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	86	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
	a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点

所属名	少年自然の家	事務事業番号	1105
-----	--------	--------	------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>【持続可能性】 1家族以上或いは2人以上の団体を受け入れ、野外活動や自然体験学習などの体験の場を提供するために、施設の有効活用と利用者目線に立った柔軟な施設運営を図ったことにより「また、利用したい」などの声も聴いており、今後も継続的に実施する必要がある。</p> <p>【有効性】 宿泊体験や野外活動などを通じて幼児から青少年などの社会性や協調性を養い、自然に関する意識向上が図れるなど事業実施の必要性は大きい。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
08時04分00秒 作成

評価年度	平成29年度	所属	5002040100	青少年室少年自然の家
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01106	森林体験事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり							
細節	50	青少年の仲間づくり							
予算事業	10981	01	10	05	06	03	01	01	森林体験事業（少年自然の家費）
所属長	藤本 一久				担当者（内線） 足立 均（850）				
根拠法令等									
事業開始年度	平成15年度	直近の改正	無						
改正内容	無								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	吹田市小学5年生から中学3年生		
目標	青少年期から「自然環境」を保全することの重要性について理解を深めることができる人を育成する。		
結果	「自然環境」について、真剣な考え方が構築できる。		
事業概要	日常生活と繋がりのある「森林」が今どようになっているのか、今後この森林を守り育てていくには何が必要かを、吹田市と繋がりのある高島市朽木地域の森林で、樹木の間伐、皮むきなどの体験や林業を専門にされている方の講義を通じて学ぶ。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
□ 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	335	267	275	263	292
人件費職員数(人)	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	409	395	403	403	398
総事業費(A+B)	744	662	678	666	690
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	744	662	678	666	690
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	744	662	678	666	690
財源計(C+D)	744	662	678	666	690

所属	青少年室少年自然の家
事務事業番号	01106

2頁
平成30年 6月 8日
08時04分00秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	申込人数	人	目標値	30.00	30.00	30.00
			実績値	18.00	27.00	
			達成度(%)	60.00	90.00	
目標値の積算方法	申込人数÷募集人数(30人)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	36.78	24.67	
			一般財源(千円)	36.78	24.67	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	アンケートの実施	人	目標値	0.00	30.00	30.00
			実績値	0.00	26.00	
			達成度(%)	0.00	86.70	
目標値の積算方法	アンケートから見る事業満足度(100%を目標)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	25.62	
			一般財源(千円)	0.00	25.62	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。事業スタッフの食糧費の見直し等により予算額の削減に努めており妥当と考えられる。</p> <p>【指数数値の評価】 以前からの課題であった参加者の減少については、はがきの送付等様々な方法により27人の参加を確保できたことは大きな成果であった。また、高島森林体験学校での樹木の間伐や皮むき体験と講師からの事前学習や実技指導により、参加者の興味や関心が高められたが、事業満足度において、86.7%となり事業成果は概ね妥当であるが、プログラムの新たな内容など改善の余地がある。</p> <p>【今後の方向性】 1回の事業の参加で森林保全に対する考え方や姿勢が変化することは考えにくい、プログラムの内容の検討などを行いつつ継続することが妥当である。</p>

事務事業分析シート

所属名	少年自然の家	事業名	森林体験事業	事業区分	その他
事務事業番号	1106				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	86	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	少年自然の家	事務事業番号	1106
-----	--------	--------	------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)持続可能性 本事業は、吹田市と繋がりのある琵琶湖、その水の源である高島市朽木地区の森林保全の重要性を、樹木の間伐や皮むき体験と林業の専門家の講義など直接的な体験を通じて学ぶ事業で、参加者にとって得るものも大きく継続的に実施する必要がある。</p> <p>(2)有効性 青少年期から自然環境を保全することの重要性について学び理解を深めることができる人材を育成するためにも事業の必要性は大きい。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
08時05分00秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002040100	青少年室少年自然の家
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01107	吹田市・高島市少年キャンプ大会事業				
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり				
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり				
細節	50	青少年の仲間づくり				
予算事業	10982	01	10	05	06 03 01 02	少年キャンプ大会事業（少年自然の家費）
所属長	藤本 一久				担当者（内線）足立 均（850）	
根拠法令等						
事業開始年度	昭和55年度	直近の改正	無			
改正内容	無					
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）					

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	吹田市（90人）及び高島市（60人）の小学4年生から中学3年生		
目標	参加者同志の交流を深め、青少年の健全育成を図る。		
結果	青少年の交流を図ることにより、両市の交流が深まる。		
事業概要	少年自然の家が開所した昭和55年（1980年）から続けている事業で、2泊3日の宿泊生活や様々なプログラム体験を通じて、施設のスローガンである「発見・冒険・挑戦」の精神を培い、吹田市と高島市の子どもの交流を深めることを目的として実施する。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	委託先①	
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	502	428	444	410	450
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	806	795
総事業費(A+B)	1,319	1,218	1,250	1,216	1,245
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	1,319	1,218	1,250	1,216	1,245
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,319	1,218	1,250	1,216	1,245
財源計(C+D)	1,319	1,218	1,250	1,216	1,245

所属	青少年室少年自然の家
事務事業番号	01107

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	募集人数	人	目標値	150.00	150.00	150.00
			実績値	140.00	139.00	
			達成度(%)	93.30	92.70	
目標値の積算方法	申込人数÷募集人数(160人)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	8.70	8.75	
			一般財源(千円)	8.70	8.75	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	2泊3日の事業を通して、自然に親しみ野外活動体験(白炊・カヌー体験・自然観察など)をグループを中心に行う。	目標	参加者同志の交流を深めることを目標とする。
成果内容	吹田市内から83人、高島市内から56人、合計139人の参加を得ました。	達成状況	一度の事業の中で交流が深められことは難しく参加者の成長と共に現れるものであり数値では表すことが難しく単純に評価できない。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。事業スタッフの食糧費の見直し等により予算額の削減に努めており妥当と考えられる。</p> <p>【指標数値の評価】 本事業は、施設が開所した昭和55年(1980年)から続いており、高島市とはフレンドシップ協定も結んでおり、両市の維持・促進を図る上で重要な役割を担っている事業であり、実施の意義、成果は大きい。2泊3日の宿泊生活や様々なプログラムを通じ、「発見・冒険・挑戦」の精神を養い、お互いの交流を深めることを目標にしているが、一度の事業で交流を深めることができるかどうかは難しく単純に評価しにくい。今後、事業満足度でのアンケートを実施し成果指標を表すことは可能である。</p> <p>【今後の方向性】 今後も両市の維持発展のためにも事業を継続して行うことが必要である。</p>

事務事業分析シート

所属名	少年自然の家	事業名	吹田市・高島市少年キャンプ大会事業	事業区分	その他
事務事業番号	1107				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	90	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
一 ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
	a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点

所属名	少年自然の家	事務事業番号	1107
-----	--------	--------	------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)持続可能性 本事業は、フレンドシップ協定を結ぶ高島市との交流事業で、昭和55年(1980年)の施設オープン時から開催しており、両市の交流の維持・促進を図る上で重要な役割を担っている事業であり継続的に実施する必要がある。</p> <p>(2)有効性 2泊3日の宿泊生活や様々なプログラムを通じて、お互いの交流を深めることを目標にしており、産業構造や人口構造の異なる両市の子供同士が交流する貴重な場である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
11時00分21秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002040100	青少年室少年自然の家
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01352	少年自然の家改修計画事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	40	青少年の居場所づくり		
予算事業				
所属長	藤本 一久	担当者（内線） 足立 均（860）		
根拠法令等	吹田市立少年自然の家条例			
事業開始年度	平成8年度	直近の改正	無	
改正内容	無			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ● 建設事業 ○ その他		
対象	少年自然の家の発電機更新改修及び屋外西便所屋根改修		
目標	施設・設備の長寿命化と安心・安全な教育施設。		
結果	非常時の発電機及び屋外西便所屋根の改修工事を、利用者に出来る限り不便をかけずに行うことが出来た。		
事業概要	昭和55年（1980年）から使用している非常用発電機及び屋外西便所屋根の改修工事について平成29年度（2017年度）施設管理事業内工事請負費で予算措置される。また、平成30年度（2018年度）については、本館宿泊室間仕切り工事が施設管理事業内工事請負費で予算措置される。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	委託先①	摂津電気工事（株）
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先②	（株）新生建工
		委託先③	
		主な委託内容	工事の実施・施工
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
		交付先②	
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

（千円）

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	0	0	0	0	0
人件費職員数(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費単価	0	0	0	0	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	0	0	0	0	0
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	0	0	0	0	0

所属	青少年室少年自然の家
事務事業番号	01352

2頁
平成30年 6月 8日
11時00分21秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	実施計画及び当初予算で、改修事業の実施及び事業費を計上		目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	無	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	従前からの改修項目であり、今後も利用者に不便をかけることなく、安心・安全に施設を利用していただくため、資産経営室と連携し、優先的に改修の必要な設備となるよう取り組んだ。	目標	非常時の発電機改修及び屋外西便所屋根改修
成果内容	利用者に不便をかけることなく改修することが出来た。また、利用者にとっては安心・安全な施設となった。	達成状況	今回においては当初の要望通りの改修工事をする事が出来た。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 当初予算に事業費を計上し、施設管理事業内工事請負費において認められ改修工事を実施でき、事業費としては適切である。</p> <p>【進捗状況の評価】 施設・設備に老朽化が進んでおり、野外食堂の建設工事、入浴設備で自動的に塩素を注入しレジオネラ菌に対応できるシステムのろ過機の改修工事、発電機設備更新改修及び屋外西便所屋根改修を実施し、今まで以上に利用される方々を安心・安全に迎えられる施設となっており概ね計画通り進んでいる。</p> <p>【今後の方向性】 施設・設備の長寿命化を図るため、資産経営室と連携し、年次計画的に改修工事を行う必要があると考えている。</p>		

事務事業分析シート

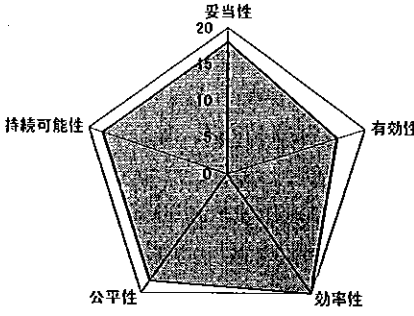
所属名	少年自然の家	事業名	少年自然の家改修計画事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	1352				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	90	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>【妥当性】 公共施設の最適化推進委員会で、発電機設備更新改修工事が「優先的に更新すべき設備」に分類され、改修予算に計上、また、屋外西便所屋根改修についても、従前より予算要求し、耐用年数(最大30年)の経過及び長年の風雨、降雪などにより劣化が進み雨水等の漏水の可能性があるため、改修工事を実施し、利用者を安心・安全に迎えられる施設となっている。</p> <p>【効率性】 企画財政室及び資産経営室と連携し、今後も年次的な改修計画を作成し、施設管理事業とのすみ分けを行い効率化を図っていく。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
08時07分14秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5002040100	青少年室少年自然の家
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01353	自然観察会事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	50	青少年の仲間づくり		
予算事業				
所属長	藤本 一久		担当者（内線） 足立 均（860）	
根拠法令等				
事業開始年度	平成24年度	直近の改正		
改正内容				
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	一般市民、こども園・保育園・幼稚園の園児		
目標	季節を通じ日頃、体験できない自然との素晴らしい出会いを五感を使って観察することにより自然に関心を持ってもらう。		
結果	この事業をきっかけに自然に関心を深めてもらうことにより、自然観察会以外での利用促進につなげることを目指す。		
事業概要	自然の家の自然環境を十分に活用し、季節を通じて、体験できない自然との出会いを五感を使って観察する。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	0	0	0	0	0
人件費職員数(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費単価	0	0	0	0	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	0	0	0	0	0
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	0	0	0	0	0

所属	青少年室少年自然の家
事務事業番号	01353

2頁
平成30年 6月 8日
08時07分14秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	募集人数 (一般市民を対象とした事業)	人	目標値	120.00	120.00	160.00
			実績値	113.00	109.00	
			達成度 (%)	94.20	90.80	
目標値の積算方法	申込人数÷募集人数 (一般市民を対象とした事業)	単位当たりコスト	総事業費 (千円)	0.00	0.00	
			一般財源 (千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	5.00	
			達成度 (%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費 (千円)	0.00	0.00	
			一般財源 (千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	アンケートの実施	人	目標値	0.00	109.00	160.00
			実績値	0.00	107.00	
			達成度 (%)	0.00	98.20	
目標値の積算方法	アンケートから見る事業満足度 (100%を目標)	単位当たりコスト	総事業費 (千円)	0.00	0.00	
			一般財源 (千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	保育園等の園児を対象とした事業 吹田市立保育園18園、吹田市立幼稚園15園、高島市子ども園等14園 計47園		目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度 (%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	事業実施のちらしを配布しPR	単位当たりコスト	総事業費 (千円)	0.00	0.00	
			一般財源 (千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	吹田市内及び高島市内のこども園等に自然観察会に関するPR用のちらしの送付などを行いました。	目標	高島市内だけでなく、吹田市内からの参加を目標としました。
成果内容	高島市内のこども園等から5園、11件の参加があり、保育士からの高い評価と平日の利用促進を図ることが出来た。	達成状況	参加された園からは、好印象を得ることができたが、吹田市内の園からの参加はなかった。

<総合評価>

今後の方向性 (一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 予算を伴わない事業であるため、評価対象とはならない。</p> <p>【指数数値の評価】 一般市民を対象とした1泊2日の事業では、施設内、施設周辺や高島市内の自然環境を題材に、四季の特徴を活かした自然観察会を実施し、家族単位での参加者が多く、事業の開催を楽しみにしておられるリピーターも多く、事業実施の成果は大きい。新たな参加者を獲得するために募集人数の増員を図る。</p> <p>こども園、保育園の園児を対象とした日帰り事業は、幼児期から直接自然に接する機会を提供し保育士から高い評価を得ているが、参加の申込みが全て高島市内であり、吹田市内に広めることが課題である。</p> <p>【今後の方向性】 今後も平日の利用促進にもつなげるため、積極的にPR活動を行って行く。</p>		

事務事業分析シート

2018/6/814:26

所属名	少年自然の家	事業名	自然観察会事業	事業区分	その他
事務事業番号	1353				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	92	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<div style="text-align: center;"> </div>		
(3)現状分析	<p>(1)持続可能性 本事業は、施設の立地条件や自然環境を活用した事業で、一般市民や園児に対して、施設内及び周辺において体験できない自然との出会いを満喫して頂いている。事業実施後のアンケートなどからは、「今度は何を企画するの。ぜひ参加したい」との意見もあり継続的に実施する必要がある。</p> <p>(2)有効性 平日利用の促進にもつなげていくためにも事業実施の必要性は大きい。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)